



岩手・宮城内陸地震の体験を今後活かす

防災対策官 熊谷順子

6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震の対応の最中、7月24日0時26分に岩手県沿岸北部で地震が発生し、岩手県洋野町で最大震度6強を記録(後に6弱に修正)。非常参集した職員は「内陸地震の再来か、山間部の状況はどうか」と危惧したものの、深夜のため直轄施設以外の情報は得られず、夜明けを待ってヘリコプター先遣班によりやっと被災状況が判明しました。その後の対応は内陸地震の経験を活かし、即日TEC-FORCEやリエゾン派遣などの対応を取りました。

岩手・宮城内陸地震において東北地方整備局は岩手県および宮城県からの要請に基づき、今年度発足したTEC-FORCEにより被災状況調査等を迅速に行い

県に報告するとともに、河道閉塞(天然ダム)については直轄砂防災害関連事業として現在、鋭意施工中です。河道閉塞箇所が対応中であることから水位情報をホームページで公開し、施工状況の衛星画像はテレビ局と栗原市に常時配信しており、避難住民に施工状況を知らせ安心して頂くとともに、降雨時の避難指示等の判断に利用されています。



整備局災害対策本部(6月15日)

初動対応として、8時45分の発生から1時間後には広域的な被災情報の収集のためにヘリ調査班を派遣し、その画像を東北地方整備局を中心とするネットワークにより防災関係機関、各県およびテレビ局に配信し被災状況を迅速に地域に伝えました。また、同時に被災情報を把握するため、リエゾン(情報連絡員)を岩手県、宮城県、栗原市などに派遣して地方公共団体への支援活動を円滑に進め、栗原市には6月20日に現地災害対策本部を設置し、直轄事業の円滑な推進を図っています。

TEC-FORCEは本省、国総研、各整備局などで構成され、被災状況調査から高度技術指導まで様々な活動を行いましたが、初めての本格的な活動であったことから課題も提示され、急ぎ今回の課題と対応を取りまとめました。今後は高い確率で想定される宮城県沖地震に備え、レベルアップを図るための研修やマニュアルの充実、無人化施工機械の導入や山間地での施工機械の開発などの課題に取り組んで参ります。

さて、9月に仙台市で開催された「土木学会全国大会」においては、内陸地震の状況を全国からの参加者に知らせるべく、急遽、仙台駅での内陸地震関係の展示

と現地調査を実施しました。現地調査のコースとして①一関市の河道閉塞(市野野原)、震源地直近の国道342号祭時大橋の落橋現場、②栗原市の大規模地滑りが発生した荒砥沢ダムの2コースを設定、約150人が参加しました。その感想の多くが「映像では把握できなかった地震の規模が分かり貴重な体験となった。今後の地震対応に活かしたい」というもので、“百聞は一見にしかず”です。



内陸地震においては、初期対応から災害復旧、広報まで、各局面における情報の共有化の大切さを再認識したところです。

土木学会全国大会の現地調査
(荒砥沢ダム)

青森河川国道事務所管内各出張所でエキスパート懇談会を行いました。



5月26日(八戸出張所)、6月10日(八戸国道出張所)、12日(青森国道維持出張所)、17日(弘前防災ステーション)、20日(十和田国道維持出張所)、30日(弘前国道維持出張所)の6日をかけて、防災エキスパート懇談会を開催しました。

事務所側から延べ49名、防災エキスパート延べ63名が参加し、熱心に情報提供や意見交換が行われ、双方から好評をいただきました。

青森河川国道事務所管内で岩木川水系水防工法訓練が行われました。



6月17日、弘前防災ステーションにおいて、岩木川水系水防工法訓練が行われました。

縄結び、土のう作りから各種工法の訓練まで幅広く行われ、14名の防災エキスパートの方々が参加されました。

高瀬川河川事務所管内で現場視察会が行われました。



7月2日、小川原湖において、現地視察会が行われました。

事務所長はじめ9名の事務所職員と、9名の防災エキスパートが参加し、熱心に現地を觀てまわりました。

岩手県沿岸北部を震源とする地震発生！



7月24日、マグニチュード6.8の強い地震が発生しました。岩手県洋野町で震度6強(後に6弱に修正)を觀測したほか、青森県・岩手県・宮城県の各地で震度5以上の激しい揺れを觀測しました。

震源地が120kmと深かったこともあり、大きな被害はありませんでしたが、青森県としては平成6年12月28日に発生した「三陸はるか沖地震」以来の震度6弱を超える大地震でした。

この地震の後、1名の防災エキスパートの方が出動し、河川巡視一次点検を行いました。

新庄河川事務所管内で、危険箇所点検が行われました。

6月19日(寒河江川管内)、6月23日(銅山川管内)、6月24日(鮭川管内)、7月3日(赤川砂防出張所管内)、9日(立谷沢川砂防出張所管内)の5日間、危険箇所等の点検パトロールが行われました。

市町村防災担当職員(西川町、大蔵村、戸沢村、金山町、真室川町、鶴岡市、庄内町の7市町村)の案内で、山形県土木部・山形県警察署・山形県消防署・新庄河川事務所等と合同で、危険箇所の点検・パトロールを行い、延べ10名の防災エキスパートの方々が参加されました。

岩手県金ヶ崎町三ヶ尻地区で、防災訓練が行われました。

7月22日、昨年秋に発生した北上川増水のような災害に備えて、金ヶ崎町で初めて、住民による水防訓練が行われました。

岩手河川国道事務所の協力により、訓練が行われ、土のう作りから「月の輪工法」などの訓練が行われ、1名の防災エキスパートが指導にあたりました。

能代河川国道事務所管内で、防災点検が行われました。



8月26日、「道路ふれあい月間」行事の一環として、防災エキスパートによる道路防災点検が行われました。

矢立峠橋・琴丘能代道路路面等の道路点検を行い、延べ8名の防災エキスパートの方々が参加されました。

酒田河川国道事務所管内で、意見交換会が行われました。

8月27日、酒田河川国道事務所管内の出張所の現場視察及び意見交換会が行われました。

延べ8名の防災エキスパートの方々が参加し、現地視察により得た情報や日頃から考えている意見等を出し合いました。

東北地方整備局管内で防災訓練が行われました。

9月1日、「防災の日」の行事として、東北地方整備局管内の全ての事務所において、「総合防災訓練」が行われました。

宮城県沖にマグニチュード8.2の地震が発生したことを想定し、「平成20年度東北地方整備局総合防災訓練実施要領」をもとに訓練が進められ、防災エキスパート出動要請訓練・TEC-FORCE派遣調整訓練等が行われ、延べ49名の防災エキスパートの方々が参加されました。

特に重点事務所となった仙台河川国道事務所では、情報伝達及び応急復旧等の詳細訓練も行われ、今年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」のような大震災に備えました。

これに伴い、当協会においても「防災訓練」を実施し、防災エキスパートの出動要請を行うとともに、災害時に迅速に行動出来るよう、防災意識の向上を図りました。



第一回防災調査会が開催されました。



9月24日、前号でも紹介しておりました、防災調査会の第一回会議が開催されました。

防災調査会は、災害派遣調査・研修等による技術力の向上を目的とした会で、第一回目の会議では、東北地方整備局防災課長をお迎えして「岩手・宮城内陸地震」での東北整備局の対応をお聞きした他、「岩手・宮城内陸地震」での防災エキスパート活動報告（栗原市）、「岩手・宮城内陸地震4学協会東北合同調査委員会」の調査報告等の発表があり、今回の地震対応の反省点を踏まえた今後の災害対応及び防災エキスパートのあり方について議論しました。

能代河川国道事務所より表彰を受けました。



東北地方整備局提供

10月20日、平成19年9月に発生した米代川の出水において、功績のあった防災エキスパート4名が、能代河川国道事務所長より表彰を受けました。

表彰を受けたのは、鹿子沢 一衛氏、川村 公一氏、松田 公策氏、智田竹彦氏の4名で、米代川の出水にとどまらず、数多くの防災エキスパート活動に積極的に参加いただいている方々です。

本当におめでとうございます。今後も、防災エキスパート活動に尽力いただけるよう宜しくお願い致します。

平成20年度「防災エキスパート研修会」のお知らせ。

毎年恒例となりました、「防災エキスパート研修会」ですが、今年度も東北地方整備局・各事務所を講師にお迎えして、東北各県にて開催致します。

防災エキスパートに登録されている方々には、後日、各支所の担当者よりご案内いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

各県の日程及び開催場所につきましては右記のとおりとなっております。

ブロック	開催予定日	会場	住所・TEL
青森県	11月19日(水)	アラスカ会館	青森市新町1丁目11-22 017-723-2233
岩手県	12月16日(火)	ホテルルイズ	盛岡市盛岡駅前通7-15 019-625-2611
宮城県	12月10日(水)	ハーネル仙台	仙台市青葉区本町2丁目-12-7 022-222-1121
秋田県	12月3日(水)	大町ビル	秋田市大町三丁目2-44 018-863-2111
山形県	12月2日(火)	メトロポリタン山形	山形市香澄町1丁目1-1 023-628-1111
福島県	11月27日(木)	郡山ビューホテル	郡山市中町3-1 024-924-1111

(平成20年度から東北地方防災エキスパートだよりは、ホームページでの提供になりました。)

編集後記

日頃より、防災エキスパート活動にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。

現在も東北地方整備局は「警戒体制」継続中ではありますが、当防災エキスパートにおいて、岩手・宮城内陸地震災害発生を契機に、「防災調査会」の開催(平成20年9月24日)、「岩手・宮城内陸地震4学協会東北合同調査委員会」への参加及び現地調査(9月4日、10月14日)を通じて、防災技術力の向上に努めておりますので、引き続き防災エキスパート活動への積極的な参加と支援を宜しくお願い致します。

今年から、防災エキスパート活動が迅速に対応できるよう、各出張所毎に班編成を行い、試行的に進めつつ、円滑に活動を行いたいと思います。